

コミュニティ・スクールだより

令和6年8月発行

令和6年度第1回学校運営協議会を開催しました

7月4日（木）、令和6年度第1回学校運営協議会を開催しました。本年度の学校運営協議会委員8名と館林特別支援学校・館林高等特別支援学校の校長・教頭並び担当職員、群馬県教育委員会特別支援教育課の指導主事、CS推進員が出席し、本年度の学校経営方針やコミュニティ・スクールとしての活動内容について協議しました。

令和6年度学校運営協議会委員

上三林区長、三野谷公民館長、館特PTA会長、館高特PTA会長、第七小学校長、栄寿会会長、商工会議所専務理事、館邑会陽光園所長、社会福祉課障がい福祉係長、NPO法人HOME理事長、障がい者総合支援センター所長

学校運営協議会の内容

- (1) 任命状交付・自己紹介
- (2) 特別支援学校におけるCSについて
- (3) 会長・副会長の選出
- (4) 令和6年度学校経営方針の説明・承認
- (5) 各校の教育活動について
- (6) 令和6年度の取組について
- (7) 連絡

協議

学校の様子を館特・館高特の教務主任よりスライドで紹介



協議の意見

＜今年度のテーマは交流＞

- ・三野谷公民館祭りを利用して館特と館高特の交流ができるのではないかと。また、七小の子供たちと一緒になにかできたら良い。いろいろな経験が積めると良い。
- ・企業は明るく元気で感じの良い人材を求めるので、二校の連携を通して、児童生徒が苦手としている人との関わりに対して、イメージも持たせ褒めて励まししながら力をつけていければ良いのではないかと。
- ・コロナ前は地域と学校の関わりがもっとあった。今後はマラソン大会など学校からの協力の依頼があればできるだけ協力していく。
- ・コロナ禍になって買い物体験がアゼリアモールのみになったが、近くのセブンイレブンなどに歩いて行って買い物体験などして地域の方と交流ができたらよい。
- ・館高特は宇宙カフェ・館特は市民フェスティバルの遊びのブースなどで地域と連携するのはどうか。実態によって大変なこともあると思うが参加できると良い。
- ・就労に向けて受入体制を作りたい。アゼリアモールは全面協力する。館林管内でめんこいガールズとの交流を行っている中学校があるので、そのような交流も良いのではないかと。
- ・七小、館特、館高特が、学校防災ということで、防災活動として起震車を呼んだり、炊き出しや煙に巻かれたときの対応体験をしたりするのはどうか。また、七小の児童と食を通して関わりが持てるのが良いのではないかと。館高特にはワックスかけをお願いしたい。
- ・学校が三校、園が一つあり地域、学校、園で関わりやすい状態なので、今までの交流も継続しつつ今までにない交流ができると良い。

